



佐藤 和也 教授が計測展 2022 OSAKA テーマセッション
パネルディスカッションにて講演

【概要】

機械工学部門の佐藤 和也 教授が、2022 年 10 月 27 日（木）にグランキューブ大阪で開催された、計測展 2022 OSAKA「テーマセッション パネルディスカッション」にて、「持続可能社会実現のためのヒト・コトづくり」というテーマで講演を行いました。

【本文】

2022 年 10 月 27 日（木）に、理工学部機械工学部門の佐藤和也 教授が、一般社団法人日本電気計測器工業会（JEMIMA）が主催する「計測展 2022 OSAKA」のテーマセッション パネルディスカッションにおいて「持続可能社会実現のためのヒト・コトづくり」というテーマでパネリストとして講演しました。計測展は「未来のものづくり社会を支える計測と制御技術の総合展」として毎年開催されており、今年は「未来へ、持続（つな）げる。」を PR メッセージとして開催されました。

本展示会は一般社団法人 日本電気計測器工業会（JEMIMA）の主催により、計測と制御に関連するメーカーや有力なソリューションベンダーの最前線で活躍する技術者やマーケティング担当者が一堂に集まることを目的に開催されています。今回、展示会内に設置された会議場において、計測・制御機器、システムを通じて広く社会や産業の発展に貢献してきた工業会と計測・制御関連の学会との距離を縮めるべく、両者が議論を通じて持続可能な社会実現を探るためのパネルディスカッションが開催されました。

パネルディスカッションでは、モデレータである日経 BP「日経 BP イベント&セミナー」ディレクターによる進行のもと、3 名のパネリストとして日本電気制御機器工業会 ものづくり・ことづくり委員会 委員長、日本電気計測器工業会 企画運営会議議長とともに佐藤教授は 1 時間の討論を行いました。佐藤教授は、所属する公益社団法人 計測自動制御学会が推進している産学連携に関して、ヒトづくりのために必要なこれからの教育方法と学習成果評価の方法、これからの機器開発、超スマート化社会実現のために必要となる Cyber Physical System (CPS) の概念の説明と考え方の留意点、多目的最適化の考え方が SDGs の達成には必要であることなどを説明した後、他のパネリストと議論を行いました。またフロアとの質疑応答も活発になされ、盛況のうちに終わるとともに、この分野・内容に対して高い関心が寄せられていることを窺い知ることができました。

計測展 2022 のウェブサイト : <https://jemima.osaka/index.html>



パネルディスカッションの様子



発言している佐藤教授